

圧力センサボタン形 200℃耐熱仕様品 取扱補足資料

1. はじめに

圧力センサボタン形 200℃耐熱仕様品は従来のSSBシリーズの耐熱 150℃を 200℃まで引き上げた特殊仕様となります。本製品に使用している歪ゲージの特性上、設置環境温度(※)により感度の変動致します。従来通り、センサに表示されている感度区分を計測ソフトウェアや計測アンプへ設定する事で計測する事は可能ですが、より精度良く計測を行うためには、設置されている環境に応じた設定が必要となります。本資料はこの設定方法に関して説明する資料となります。

※設置環境：圧力センサボタン形の筐体が設置されている周辺温度を意味します。

2. 設定方法

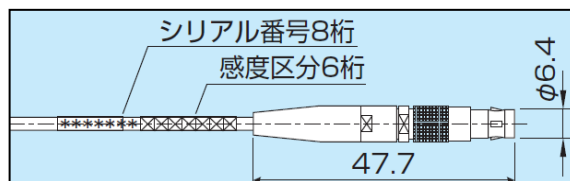
2-1. 感度区分 6桁(右図)をご確認ください。

2-2. センサ感度の設定値を計算します。

表 1. 換算用係数

設置環境温度[℃]	係数	設置環境温度[℃]	係数
25	0.999	115	1.008
30	0.999	120	1.008
35	0.999	125	1.009
40	1.000	130	1.011
45	1.000	135	1.012
50	1.000	140	1.013
55	1.000	145	1.014
60	1.001	150	1.015
65	1.001	155	1.017
70	1.001	160	1.018
75	1.002	165	1.019
80	1.002	170	1.021
85	1.003	175	1.022
90	1.004	180	1.024
95	1.004	185	1.026
100	1.005	190	1.027
105	1.006	195	1.029
110	1.007	200	1.031

図 1. コネクタ部感度区分 表示箇所



計算例)

<計算例の前提条件>

- 圧力センサの感度区分 71200A
- 設置環境温度 190℃ (この時の上表係数は 1.027)

<計算>

71200Aの「1200」、設置環境 190℃の時の上表 1 の係数「1.027」を利用します。

$$1200 \div 1.027 \approx 1168$$

この算出された 1168 を、演算に使用した 1200 の個所に当てはめ、ソフト又はアンプに設定する感度区分を以下のように変更して計測を行います。

(換算前) → (換算後)
71200A → 71168A

2-3. センサ感度の設定

「圧力計測アンプ MPS08 の取扱説明書 P.24 4-4-2 センサ感度の設定」もしくは「圧力計測アンプ MPV04 の取扱説明書 P.12 4-1 圧力センサ感度区分の設定」に従い、換算後の値を入力します。

圧力センサボタン形 200℃耐熱仕様品 取扱補足資料

3. 計測アンプ・ソフトウェアについて

圧力センサボタン形 200℃耐熱仕様品をご使用される場合、以下のバージョン以降のソフトウェアをご使用ください。

<MPS08 アンプをご使用の場合>

PC 側計測ソフトウェアバージョン	Ver.11.10.38
MPS08 アンプ内ファームウェアバージョン	Ver.00.00.42.00

<MPV04 アンプをご使用の場合>

MPV04 アンプ内ファームウェアバージョン	Ver. 01.04.00
------------------------	---------------

4. 最新のソフトウェアの確認方法

以下のウェブサイトをご参照願います。

http://www.futaba.co.jp/precision/mold_marshall/software